

# 検査結果の見方

## ●●● 注意 ●●●

- ★検査結果の異常が全て病気を意味するものではありません。
- ★基準範囲(正常値)は健康人の100人中95人が入る範囲です。(100人中5人程度の方が健康でも異常値となりえます)
- ★食事、運動、時刻などの条件で検査結果が変化するものがあります。
- ★異常値については主治医に御相談ください。
- ★詳細についてはホームページをご覧ください。(http://www.ise.jrc.or.jp)

| 検査項目名                                |              | 基準範囲(正常値)                          | 説明   |
|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|--|
| TP<br>(ティーパー)                        | 総たんぱく        | 6.6—8.1g/dL                        | 血清中のタンパクの総量で栄養状態が悪くなると低くなります。慢性肝炎、多発性骨髄腫などで高値になります。  |
| Albumin<br>(アルブミン)                   | アルブミン        | 4.1—5.1g/dL                        | 血清中のタンパクの一種で栄養状態が悪くなると低くなります。肝臓、腎臓が障害を受けると低値になります。   |
| BUN<br>(ビユーエヌ)                       | 尿素窒素         | 8—20mg/dL                          | タンパク質の老廃物である尿素の量です。腎機能障害、消化管出血などで上昇します。肝硬変、低栄養などで低値になります。  |
| Creatinine<br>(クレアチニン)               | クレアチニン       | 男0.65—1.07mg/dL<br>女0.46—0.79mg/dL | 腎機能が低下すると上昇します。筋肉量によっても影響を受けます。  |
| UA<br>(ユーイー)                         | 尿酸           | 男 7.0mg/dL未満<br>女 2.6—5.5mg/dL     | 細胞の核の成分であるプリン体が分解してできた老廃物で、これが増加すると痛風の原因となります。腎疾患、白血病でも上昇します。  |
| Na<br>(ナトリウム)                        | ナトリウム        | 138—145mEq/L                       | 血液中の塩分です。体内の水分量を反映します。低値は水過剰状態です。  |
| K<br>(カリウム)                          | カリウム         | 3.6—4.8mEq/L                       | 低値になっても高値になっても心臓、筋肉、神経に影響します。体液バランスを反映します。   |
| Ca<br>(カルシウム)                        | カルシウム        | 8.8—10.1mg/dL                      | 99%が骨や歯に存在し、血液凝固や神経刺激の伝達に関与します。骨、副甲状腺、腎障害の指標です。  |
| T-Bilirubin<br>(トータル ビリルビン)          | 総ビリルビン       | 0.4—1.5mg/dL                       | 黄疸の指標です。肝臓、胆のう、胆管に障害があると黄疸になり、数値も上昇します。  |
| D-Bilirubin<br>(ダイレクト ビリルビン)         | 直接ビリルビン      | 0.0—0.4mg/dL                       |  |
| ALT(GPT)<br>(エーエルティ)                 | エーエルティ       | 男 10-42 IU/L<br>女 7-23 IU/L        | いずれも肝細胞に多く含まれる酵素で、肝臓に障害が起こると血液中に流れ出して値が高くなります。ALTは肝細胞にだけある酵素で肝細胞がこわれたときに増加します。ASTは心臓などに障害がある場合にも上昇します。 |
| AST(GOT)<br>(エーエステー)                 | エーエステー       | 13—30 IU/L                         |  |
| LD(IFCC法)<br>(エルディー)                 | 乳酸脱水素酵素      | 124—222 IU/L                       | 肝臓、心臓、肺、腎臓、骨格筋、血液に多く含まれる酵素で、これらの組織が壊れると上昇します。  |
| ALP(IFCC法)<br>(エーエルピー)               | アルカリフォスファターゼ | 38—113 IU/L                        | 肝臓、胆道、骨、胎盤、小腸などに多く存在する酵素で、胆汁の流れが悪い時や骨の異常で上昇します。  |
| GGT(γ-GTP)<br>(ジージーティー)              | ジージーティー      | 男 13—64 IU/L<br>女 9—32 IU/L        | 肝臓、胆道に障害があると高値になり、特にアルコールに敏感で、アルコール性肝障害で上昇します。   |
| Ch-E<br>(コリンエステラーゼ)                  | コリンエステラーゼ    | 男 240—486 IU/L<br>女 201-421 IU/L   | 肝機能障害、有機りん剤中毒、低栄養などで低下します。脂肪肝などで上昇することがあります。   |
| AMY(S)<br>(アミラーゼ)                    | 血中アミラーゼ      | 44—132 IU/L                        | 膵臓、唾液腺に多く含まれ、膵炎、流行性耳下腺炎などで高値になります。   |
| CK(CPK)<br>(シーケー)                    | シーケー         | 男 59—248 IU/L<br>女 41—153 IU/L     | 心臓、骨格筋等の障害で上昇します。心筋梗塞や激しい運動などで上昇します。   |
| Fe<br>(エフイー)                         | 鉄            | 40—188μg/dL                        | 赤血球の原料となるもので、貧血で減少し、肝臓疾患で増加することがあります。  |
| UIBC<br>(ユーアイビスシー)                   | 鉄結合能         | 男170—250gμ/dL<br>女180—270μg/dL     | 血液中で鉄と結合していないタンパク質で、貧血になると高値になります。   |
| Glucose<br>(グルコース)                   | 血糖           | 56—109mg/dL                        | 血液中のブドウ糖の量です。食事により大きく変動します。食後は高値になります。糖尿病などで高値になります。   |
| T-Cholesterol<br>(トータルコレステロール)       | 総コレステロール     | 142—248mg/dL                       | 血管壁やホルモンの合成に必要な物質です。多すぎると動脈硬化を起こす原因となります。  |
| HDL-Cholesterol<br>(エイチディーエルコレステロール) | HDLコレステロール   | 男38—90mg/dL<br>女48—103mg/dL        | 善玉コレステロールと呼ばれ、余分なコレステロールを肝臓に戻す役割をします。糖尿病、肥満、喫煙、運動不足などで低下します。低値では動脈硬化になりやすくなります。                        |
| LDL-Cholesterol<br>(エルディーエルコレステロール)  | LDLコレステロール   | 70—139mg/dL                        | 悪玉コレステロールと呼ばれ、糖尿病、高脂肪食などで上昇します。多すぎると、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化の危険性が高まります。  |
| Triglyceride<br>(トリグリセリド)            | 中性脂肪         | 50—149mg/dL                        | 肥満や食べすぎ、食後にも高値になります。過度の増加は動脈硬化や脂肪肝の原因となります。  |
| HbA1C<br>(ヘモグロビンエワンシー)               | ヘモグロビンエワンシー  | 4.6—6.2%(NGSP)                     | 糖尿病のコントロールの指標に利用され、過去1~2ヶ月間の平均的な血糖値が推測できます。  |

|                        |        |             |                    |
|------------------------|--------|-------------|--------------------|
| <b>CRP</b><br>(シーアルビー) | シーアルビー | 0.14mg/dL以下 | 炎症や組織障害がある時に上昇します。 |
|------------------------|--------|-------------|--------------------|

| 尿 検 査                       |              |  |  |
|-----------------------------|--------------|--|--|
| 検査項目名                       | 基準範囲(正常値)    | 説 明  |  |
| 尿定性                         | 潜血           | (-)  | 尿に血液が混入すると陽性になります。<br>膀胱炎、腎炎、尿管結石などで陽性になります。           |
|                             | 蛋白           | (-)  | 腎障害(腎炎など)、ネフローゼ症候群、結石、心不全、尿路感染などで陽性になります。              |
|                             | 糖            | (-)  | 糖尿病、膵炎、肝疾患、甲状腺機能亢進症などで陽性になります。                         |
|                             | ウロビリノーゲン     | (±)  | 肝機能障害などで陽性になります。                                       |
| 便 検 査                       |              |  |  |
|                             | 便潜血          | (-)  | 便中に混じるごく微量の血液の有無をみる検査です。<br>消化管出血、癌などで陽性になります。         |
| 血 液 検 査                     |              |  |  |
| WBC                         | 白血球数         | 3.3-8.6×10 <sup>3</sup> /μL                                      | 細菌感染などによる炎症や血液の病気で高値になります。                             |
| RBC                         | 赤血球数         | 男4.35-5.55×10 <sup>6</sup> /μL<br>女3.86-4.92×10 <sup>6</sup> /μL | 酸素を運搬しています。<br>少ない状態を貧血、多い状態を多血症と言います。                 |
| Hgb                         | ヘモグロビン濃度     | 男13.7-16.8g/dL<br>女11.6-14.8g/dL                                 | 赤血球に含まれる血色素のことです。<br>貧血で低値に、多血症や脱水症で高値になります。           |
| Hct                         | ヘマトクリット      | 男40.7-50.1%<br>女35.1-44.4%                                       | 貧血で低値になります。<br>多血症や脱水症で高値になります。                        |
| PLT                         | 血小板数         | 158-348×10 <sup>3</sup> /μL                                      | 出血を止める働きをしています。極端に少なくなると出血しやすくなります。血液の病気、肝硬変などで減少します。  |
| 血 清 検 査                     |              |  |  |
| HBsAg<br>(エイチビーエス抗原)        | HBs抗原        | (-)  | B型肝炎ウイルスの検査です。<br>陽性の場合には現在感染していることを意味します。             |
| HBsAb<br>(エイチビーエス抗体)        | HBs抗体        | (-)  | B型肝炎ウイルスの検査で、陽性の場合には過去の感染を意味します。<br>ワクチン接種でも上昇します。     |
| HCVAb<br>(エイチシーブイ抗体)        | HCV抗体        | (-)  | C型肝炎ウイルスの検査です。   |
| Ferritin<br>(フェリチン)         | フェリチン        | 男 15.0-160.0ng/mL<br>女 10.0-60.0ng/mL                            | 貯蔵鉄を反映しています。<br>貧血の検査、悪性腫瘍の検査です。                       |
| FT3<br>(フリーT <sub>3</sub> ) | 遊離トリヨードサイロニン | 2.51-4.16pg/dL   | 甲状腺機能亢進症で高値を示します。<br>甲状腺機能低下症で低値を示します。                 |
| FT4<br>(フリーT <sub>4</sub> ) | 遊離サイロキシン     | 0.83-1.77ng/dL   | 甲状腺機能亢進症で高値を示します。<br>甲状腺機能低下症で低値を示します。                 |
| TSH (IFCC)<br>(ティーエスエイチ)    | 甲状腺刺激ホルモン    | 0.610-4.230<br>μIU/mL  | 甲状腺機能低下症で高値を示します。(例外もあります)<br>バセドウ病など甲状腺機能亢進症で低値を示します。 |
| ASO<br>(エーエスオー)             | 抗ストレプトリジンO   | 160 IU/mL以下  | 溶血性レンサ球菌感染症の検査です。                                      |
| RF<br>(アールエフ)               | リウマチ因子       | 15 IU/mL以下   | 慢性関節リウマチの検査です。   |